

会報 エコネットはんのう

編集・発行 / はんのう市民環境会議

環境みるみるツアーを開催しました

飯能市は、豊かな緑と清流にはぐくまれた、素晴らしい自然・環境の名所がたくさんあります。しかし、実際にその場所を訪れ、咲き乱れる花を見る、風や木枝がゆれる音を聴く、清流の心地よさを肌で感じるといった機会は少ないのではないのでしょうか。

そこで、はんのう市民環境会議では、今年度の全体テーマである「はんのうの環境を見る、知る、感じる」を実践し、私たちの街をもっと身近に感じるため、11月20日に「環境みるみるツアー」を開催しました。

ツアーには、28名が参加し、自然環境部会の浅野部会長のガイドのもと、矢久橋から望む入間川の風景、飯能河原周辺の緑豊かなトラスト地、公団の開発地、県指定天然記念物の南高麗タブの木、原市場唐竹の水明橋、小岩井地内の不法投棄、天覧山下の中央公園と巡りました。

今回のツアーで、メインとなった「南高麗タブの木」は、富士浅間神社の裏山の坂を汗をかきながら登ると、枝を四方に伸ばした威風堂々とした姿を現しました。このタブの木は、国内のタブの木分布における北限を記録する、樹齢推定700年の巨木で、私たちが訪れるのを、じっと待っていてくれているようでした。参加者からは、「その大きさ、生命力に感動した」といった言葉が聞かれました。また、「もっと手入れが必要」という意見もありました。



南高麗タブの木（南高麗地区）

しかし、飯能のいいところだけではなく、悪いところも見て回りました。小岩井地内の道路脇の不法投棄現場には、心ない人によって捨てられたごみが散乱し、その現状を見た参加者からは、「ごみ拾いのボランティア活動をやろう」といった意見が出されました。

ツアー後には、懇談会を行い、ツアーの感想などを話し合いました。環境を知ることができた、ツアーを今後も継続してもらいたいなど、好評のうちに終了しました。



専門部会活動を報告します（11～2月）

《生活環境部会》

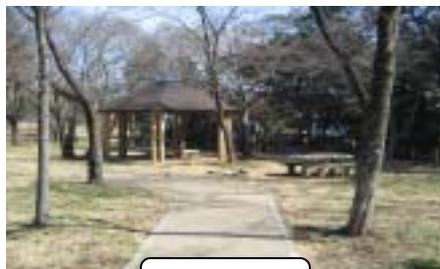
生活環境部会では、「飯能の公園について」を話し合い、公園の問題点等を考えてきました。そこで、実際に飯能の公園、特に市街地の公園を中心に「公園の現状を視察し、問題点を明確に把握したい」ということを目的に徒歩での公園を巡る事業、『市街地の公園を歩いて巡ってみよう』を11月27日に10名が参加し、実施しました。

飯能幼稚園に集合し、299バイパス、上ノ台公園、原町児童遊園地、前田公園、玉宝公園、橋場公園、柿堂公園、東飯能駅、中央通り商店街、銀座通り商店街、大通り商店街、美杉台・桜の森予定地、飯能河原、中央公園と巡り、飯能幼稚園で解散となりました。

街区公園や児童遊園、近隣公園などを見て回りましたが、どの街区公園も周りを囲む木が大きくなり、見通しが悪く感じました。公園のある地域の平均年齢を事前に調べ、資料とともに視察すると、平均年齢の低い地区では、子ども連れの親子が目立ちました。逆に平均年齢の高い地区では、ゲートボール場・グラウンドゴルフ場としての利用が多いようでした。

災害時の避難場所としての公園も現状のまま大丈夫なのでしょうか。トイレ水道等の施設もあるにはありますが、整備されているとはいえないものでした。他の市では仮設トイレ用下水道も整備されているところもあります。災害時に多くの人々が利用することを考えると必要と感じました。

桜の森の予定地とされる美杉台公園周辺、また中央公園の西側の場所も視察しましたが、整備された遊歩道や広場について様々な角度から意見を集め、桜の森のような市民の憩いの場、観光の場として有効利用できるようにしてほしいという意見もありました。



中央公園

朝の9時に出発し昼食をはさんで3時にはゴールしました。公園を検証しながら飯能のまちを1周しましたが、公園以外でも飯能のまちの良さを再認識できました。

《地球環境部会》

地球環境部会では、資源循環型社会の実現に向け、ごみの減量化や省資源・省エネルギーなど、生活に密着した活動を行っています。今回も引き続き、現状を知り、自分たちにできることは何かを探るため、クリーンセンターの施設見学会、環境学習会を開催しました。



クリーンセンター

クリーンセンター施設見学会 12月23日(木)(12名参加)

今年度3回目の「飯能市クリーンセンター施設見学会」を開催しました。施設の稼働状況と分別された“ごみ”や“資源”の流れなどについて、説明を受け、実際に施設内を見学しました。

見学のあと、質疑応答とごみの減量などについて意見交換を行いました。

環境学習会 1月29日(土)(場所：富士見公民館 12名参加)

テーマ：地球環境の保全 ～私たちにできることは～

会員で環境カウンセラーの印南幸雄さんを講師に、「地球環境の保全～私たちにできることは～」と題して、学習会を開催しました。

“食糧問題”と“ごみ問題”という2つの切り口から見た「地球環境の現状と問題点」を浮き彫りにして、その対策を私たち一人ひとりの行動に結びつける糸口の紹介がありました。今後の部会活動を進めるうえで、とても有意義なものでした。

懇談会 2月26日(土)(場所：富士見公民館 11名参加)

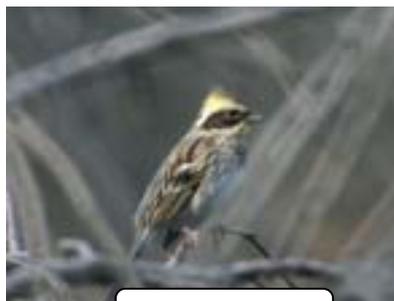
平成17年度の部会活動計画について意見交換を行いました。

地球温暖化防止、ごみ減量、環境教育、部会活動の活性化などの重点課題と、これら課題に対する具体的な取り組みテーマを出して、それらに優先順位をつけました。この結果を平成17年度の部会活動計画の骨子として、部会運営を進めていくことになりました。

《自然環境部会》

自然環境部会では、「現状の飯能の自然を知る」を目標に自然観察会を引き続き実施しています。今回、「天覧山・多峯主山の自然を守る会」と合同で、第4回目となる自然観察会を2月13日に開催しました。30名もの皆さんが参加し、「春に唄うバードウォッチング」というテーマで、野鳥観察を行いました。

天覧山裏の冬枯れた木立の中、コゲラ、シジュウカラ、ジョウビタキといった野鳥のほか、なかなか見ることができないルリビタキ、さらには3～5年に一度しか見られないといわれるほど珍しい、ミヤマホオジロが姿を見せ、幸運な観察会になりました。今回の野鳥観察では、計15種の野鳥を確認することができました。



ミヤマホオジロ

また、フィールドワーク(野外学習)と平行して、引き続き、エコツーリズムと桜の森計画を中心に11月13日、12月11日、1月22日、2月26日の計4回、富士見公民館を会場として、勉強会を開催し、延べ90名が参加しました。

エコツーリズムについては、その検討状況の経過説明や宮城県田尻町でのエコツーリズムシンポジウムへの出席者からの体験報告、2月19日に開催されたエコツーリズムの「キックオフ!シンポジウム」の報告などがなされ、出席者の皆さんと意見交換を行いました。また、桜の森計画についても、新たに勉強会に参加する方にもその経緯が共有できるように会議録をまとめながら、皆さんと活発な意見交換を行っています。

エコ・トピックス

私たち「はんのう市民環境会議」に関わりあるトピックスを紹介していきます。

エコツーリズムシンポジウムが開催されました

環境省からエコツーリズム推進モデル地区の全国13か所の1つに飯能・名栗地区が選ばれ、2月19日にキックオフシンポジウムが開催されました。当日は、本会の会員の皆さんも多く参加していました。

エコツーリズムとは、「自然環境や歴史文化を対象とし、それらを体験し、学ぶとともに、対象となる地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光のあり方」だそうですが、あまり難しく考えずに、「そうだ、自然を楽しむ旅に出よう」と考えれば、もっと身近に思えるのではないのでしょうか。

本会の自然環境部会でも、エコツーリズムを通じた自然の保全と活用について勉強会を続けています。皆さんも、自然を楽しむ旅へと出てはどうでしょう。

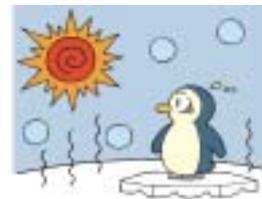


ストップ！地球温暖化

2月16日に、進み続ける地球温暖化に歯止めをかけるための「京都議定書」が発効されました。温暖化に影響する温室効果ガスの大部分が二酸化炭素です。この二酸化炭素、日本での排出量の約半分が家庭からで、私たちの生活と密接に関わっています。

では、二酸化炭素を減らすにはどうすればいいのでしょうか。それは、日常の中で、省エネなどに取り組むことから始まります。

私たちが生活の中で簡単にできることがあります。例えば、「自動車の使用を半分に」、「アイドリングもやめる」、「いらぬものを買わないで、ごみを半分に」、「使っていない電気製品のコンセントを抜く」など、身近なことでできることが多くあります。



守ろう、地球の笑顔を！

私たちも、できることから始めましょう。それが、温暖化防止への第一歩です。

編集後記：早いもので、もう立春も過ぎ、白梅、紅梅の開花が聞こえてくる昨今です。ここ数日、寒波の到来で70歳を過ぎた身には、ひととき堪えます。昨年は、新潟中越地震を始め、世界に亘って台風や津波による災害で尊い命が奪われ、2004年を京都清水寺の森清範管長は「災」の年とされました。国内では凶悪犯罪と治安の悪化もあり、まさに惨憺たる状況であります。それでも自然はおもむくままに季節はめぐり春を告げます。せめて自分たちの住む飯能市の環境だけでもできるだけ目にとめていきたいと思えます。飯能市と名栗村が合併し、環境についても新しい分野での課題がいろいろ多くなることと思えますが、自分たちのため郷土飯能市を守り、築いていくことが必要と思えます。会員の皆様には本年も健康に留意され、ご活躍を祈ります。（広報委員長：木川一男）

この会への意見・提案など、皆さんの声をお待ちしています。

はんのう市民環境会議

事務局

飯能市市民生活部環境緑水課環境推進担当

住所 〒357-8501 飯能市大字双柳1-1

電話 042(973)2111(内線175)

ファクス 042(974)6737

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp

3月、4月の予定をご案内します

各部会の3月、4月の予定をご案内します。皆さんの参加をお待ちしています。
各部会の活動日時、場所、内容をお間違えないようご注意ください。

《 3 月 》

21日(月・振替休日) 地球環境部会開催

時 間：午前9時30分～正午(要申込、3月17日までに市役所環境緑水課へ)

場 所：クリーンセンター(住所：下畑768-1)

内 容：今年度最後の施設見学会です。実際に施設の状況を見学し「ごみの減量」や「リサイクル」について一緒に考えましょう。

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、クリーンセンターにお集まりください。

26日(土) 生活環境部会開催

時 間：午後2時～4時(要申込、3月24日までに市役所環境緑水課へ)

場 所：林業センター 1階視聴覚室(住所：阿須343-1)

内 容：部会活動の16年度の反省と17年度の方向性について話し合います。

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、林業センターにお集まりください。

26日(土) 自然環境部会開催

時 間：午後7時～9時(要申込、3月24日までに市役所環境緑水課へ)

場 所：富士見公民館 2階和室(住所：双柳1-16)

内 容：第6回勉強会(エコツーリズム、桜の森等について)

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

《 4 月 》

10日(日) 自然環境部会開催

時 間：午前9時30分～午後2時30分(雨天中止)(申込不要、直接集合場所へ)

集合場所：市民会館北側 中央公園トイレ付近

内 容：自然観察会「春のお山は花盛り」

天覧山一帯にはヤマザクラがたくさん咲いています。移ろう季節の一瞬を満喫しましょう。

持ち物：弁当、水筒、筆記用具、あれば双眼鏡、歩きやすい服装で

参加費：保険料1人100円

共 催：天覧山・多峯主山の自然を守る会

16日(土) 地球環境部会開催

時 間：午後2時～4時(要申込、4月14日までに市役所環境緑水課へ)

場 所：富士見公民館 第2学習室(双柳1-16)

内 容：アースデーを前にして「環境家計簿」について一緒に勉強しましょう

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

23日(土) 自然環境部会開催

時 間：午後7時～9時(要申込、4月21日までに市役所環境緑水課へ)

場 所：富士見公民館 2階和室(双柳1-16)

内 容：第7回勉強会(エコツーリズム、桜の森等について)

申込み：希望者は、電話、ファクス等で市役所環境緑水課までお申込みください。

その他：参加者は、当日、富士見公民館にお集まりください。

お問い合わせ・申込み先(はんのう市民環境会議事務局)

飯能市市民生活部環境緑水課環境推進担当

住所 〒357-8501 飯能市大字双柳1-1

電話 042(973)2111(内線175)/FAX 042(974)6737

Eメール kankyo@city.hanno.saitama.jp